令和５年度　中学校学習指導要領実施状況調査について（結果のポイント）【速報版】

調査の概要

【目的】

　中学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした生徒の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

【時期、対象学年及び教科等】

〇調査時期：調査①令和５年11月１日（水）から令和５年12月22日（金）
（音楽、美術、技術・家庭、保健体育、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）
調査②令和６年１月22日（月）から令和６年３月19日（火）
（国語、社会、数学、理科、外国語（英語）、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動）

〇調査対象：国公立及び私立中学校　1,356校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程含む）　※全学校の約13.２％、無作為抽出
実施生徒数（延べ）　159,150人

〇内容　：各教科で、①今回の改訂の基本方針に関する事項、②各教科等の主な改善事項（今回の改訂で新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項）、③従来、課題とされている事項の視点に基づくペーパーテスト調査を実施するとともに、一部教科で実技調査を実施。あわせて、生徒、教師、学校長を対象とした質問調査をオンライン形式にて実施。

・ペーパーテスト調査：第１～３学年　国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、保健体育（体育分野、保健分野）、外国語（英語）
・質問調査（学校）（生徒、教師）：第１～３学年　特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動
・実技調査：第３学年　美術、技術・家庭（家庭分野）、保健体育（体育分野）、外国語（英語）

（主なポイント）

各教科のペーパーテスト調査の結果から

〇必要な情報を資料から読み取ることについては成果が見られるが、読み取った情報を整理してまとめることや、そこから自分の考えを表現すること、情報を基にその原因や理由を説明することについては課題があると考えられる。

〇基礎的・基本的な知識の理解は進んでいるが、知識と関連付けて表現することや、分析的・総合的に物事を捉えることについては課題があると考えられる。

特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動の質問調査の結果から

〇基本的に多くの設問において生徒の肯定的な回答の割合が高く、これらの教科・活動等に対する生徒の高い意欲がうかがわれる。

令和５年度 中学校学習指導要領実施状況調査について（ペーパーテスト調査等）

ペーパーテスト調査等の概要

● **調査実施校：中学校　1,356 校　実施生徒数　159,150人（延べ数）**

※１教科１問当たり、3,600人程度の調査結果を得ることができるよう、調査対象を無作為抽出した。

● **データを見るにあたって**

○「１．主な改訂のポイント」「２．学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」「３． ２の成果と課題を踏まえた改善の方向性」「４．調査問題例」の４構成と「４」に対応する問題を別紙（問題例）で添付。

○「２．学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題」中の赤字部分は「相当数の児童ができている」もの、青字部分は「課題があると考えられる」もので、下線が付されているものは、「４．調査問題例」及び別紙において問題例（質問項目例）が示されている。

※実技調査については、対象教科（美術、技術・家庭（家庭分野）、保健体育（体育分野）、外国語（英語）のペーパーテスト調査を実施する抽出校の中から調査を実施する学校を抽出。（１教科当たり350人程度：10校程度））

令和５年度　中学校学習指導要領実施状況調査の結果について（音楽）

１．平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

○生活や社会における音や音楽の働きや、音楽文化についての関心や理解を深める学習の充実
○我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるようにする学習の充実
○音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る言語活動の充実

２．学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

○我が国の伝統的な歌唱や和楽器の演奏を聴いて、その特徴を、声の音色と発声、楽器の音色と奏法とを関わらせて理解すること、音楽を聴いて捉えた特徴を、音楽を形づくっている要素に関わる言葉を適切に用いて表すことについては、相当数の生徒ができている。
○音楽表現の創意工夫について知識と関連させながら言葉で表現すること、課題や条件に沿って、創意工夫を生かした音楽をつくること、音楽の特徴に着目し、理由を明らかにしながらよさや魅力を見いだし言葉で表現することについては、課題があると考えられる。

３．２の成果と課題を踏まえた改善の方向性

○指導上の改善点
・音楽表現の創意工夫については、生徒が知識や技能を得たり生かしたりする過程を重視した指導の充実を図る。
・生徒が様々な音楽を聴き、その特徴を比較するなどして、音楽表現の共通性や固有性について考えることができるよう鑑賞の指導の充実を図る。
・音楽を形づくっている要素を思考・判断のよりどころとした学習を一層充実するとともに、生徒が音楽の特徴と、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などとを関連付けられるよう指導の充実を図る。

４．調査問題例（ペーパーテスト 中学校/音楽）

我が国の伝統音楽の演奏を聴いて特徴を捉える問題例
（別紙１参照）

○主に「知識及び技能」のうち「知識」の習得に関連し、
・長唄の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを捉え、適切なものを選択する問題を出題。**【通過率　73.9%】**
・箏の楽器の音色や響きと奏法との関わりを捉え、適切なものを選択する問題を出題。**【通過率　87.2%】**

音楽の特徴を捉え、言葉で説明する問題例（別紙２参照）

○主に「知識及び技能」のうち「知識」の習得や「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
・管弦楽曲を聴き、音楽を形づくっている要素に着目して特徴を捉え、言葉で説明する問題を出題。**【通過率　80.5%、74.5%】**

思いや意図をもち、課題や条件に沿って音楽をつくる問題例
（別紙３参照）

①主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
・２つの太鼓の音やリズムの重ね方に触れながら、音楽で表すための工夫について言葉で表す問題を出題。**【通過率　42.0%】**
②主に「知識及び技能」のうち「技能」の習得に関連し、
・創意工夫を生かした課題や条件に沿って音楽をつくる問題を出題。
【通過率　36.3%】

音楽の特徴に着目し、理由を明らかにしながらよさや魅力を見出し言葉で表現する問題例（別紙４参照）

○主に「思考力、判断力、表現力等」の育成に関連し、
・管弦楽曲と雅楽を、音楽表現の共通性や固有性について考えながら聴き比べ、音楽の特徴と関わらせながらよさや美しさを言葉で説明する問題を出題。**【通過率　43.4%】**

別紙１（問題例）

音楽　第２学年及び第３学年　歌唱
我が国の伝統音楽の演奏を聴いて特徴を捉える問題例①

音楽科　第２学年及び第３学年「Ａ表現」(1)歌唱 イ(ｲ)
声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解することについて問う問題
〇長唄の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを聴き取り、適切なものを選択する問題を出題
このような問題により、我が国の伝統的な歌唱の活動を通した「知識」の習得の状況について測る。

2　これから流れる長唄「勧進帳」の一部分の模範演奏を聴いて、あとの問題に答えなさい。

最初に音楽が１回流れます。

【詞章（歌詞）】
旅の衣は篠懸の
旅の衣は篠懸の
露けき袖やしおるらん

この模範演奏を参考に知佳さんがうたってみました。
（知佳さんの演奏が１回流れます。）

知佳さんが模範演奏のようにうたうためには、どのようなことに気を付けてうたうとよいでしょうか。ふさわしいものを次の１から４の中から2つ選び、番号で答えなさい。（7

知佳さんが模範演奏のようにうたうためには、どのようなことに気を付けてうたうとよいでしょうか。ふさわしいものを次の１から４の中から2つ選び、番号で答えなさい。（7

「模範演奏」、「知佳さんの演奏」の順で２回流れます。音楽を聴きながら解答しても構いません。

1　言葉をはっきりと伝えるために、全ての音を短く切って跳ねるようにうたう

2　言葉がはっきりと伝わるように発音に注意しながら、音をつなげてうたう

3　唄い尻（節のまとまりの終わりの部分）は、自然に息を抜いてだんだん弱くなるようにうたう

4　唄い尻の装飾の入れ方を工夫してうたう

正答
２（言葉がはっきりと伝わるように発音に注意しながら、音をつなげてうたう）
４（唄い尻の装飾の入れ方を工夫してうたう）

【通過率　73.9％】

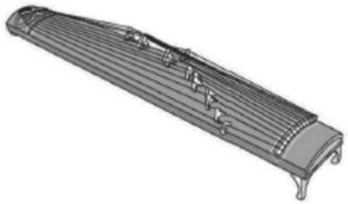
別紙１続き（問題例）

音楽　第２学年及び第３学年　器楽
我が国の伝統音楽の演奏を聴いて特徴を捉える問題例②

音楽科　第２学年及び第３学年「Ａ表現」(2)器楽 イ(ｲ)
楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解することについて問う問題
〇箏の楽器の音色や響きと奏法との関わり捉え、適切なものを選択する問題を出題
このような問題により、和楽器を用いた器楽の活動を通した「知識」の習得の状況について測る。

3　これから流れる箏（そう（こと））の演奏を聴いて、あとの問題に答えなさい。

最初に音楽が１回流れます。



この演奏に、次の１から４のいずれかの箏の奏法を取り入れて演奏します。

1　合（あわ）せ爪…親指と中指で同時に２本の弦を弾く奏法
（音が１回流れます。）

2　トレモロ…一本の弦を連続して小刻みに弾く奏法
（音が１回流れます。）

3　流し爪…複数の弦を素早く連続して弾く奏法
（音が１回流れます。）

4　後押し…右手で弾いた後に左手で弦を押して余韻の音を上げる奏法
（音が１回流れます。）

これから、上のいずれかの**奏法を取り入れる前の演奏**と**奏法を取り入れた後の演奏**が交互に２回流れます。取り入れた奏法を上の１から４の中から１つ選び、番号で答えなさい。（8

正答
4（後押し…右手で弾いた後に左手で弦を押して余韻の音を上げる奏法）

【通過率　87.2％】

別紙２（問題例）

音楽　第２学年及び第３学年〔共通事項〕
音楽の特徴を捉え、言葉で説明する問題例

音楽科　第２学年及び第３学年〔共通事項〕ア、イ（音色、リズム、速度、強弱、構成のうち任意に選択した２つ）について問う問題
○「ローマの松」の一部を聴き、音楽を形づくっている要素に着目して特徴を捉え、言葉で説明する問題を出題
このような問題により、鑑賞の活動を通した〔共通事項〕に関わる「知識」の習得、及び「思考力、判断力、表現力等」の育成の状況について測る。

1　これから流れる音楽について、次の⑴、⑵の問題に答えなさい。

最初に音楽が１回流れます。音楽はある作品の一部です。

次の文は、翼（つばさ）さんがこの音楽を聴いて、音楽を形づくっている要素のうち、２つの要素について気付いたことを述べたものです。

【リズムについて気付いたこと】
この部分を通して、低い音で演奏されていたリズムは変化しない。

【構成について気付いたこと】
同じような旋律が反復している。

⑴　**翼さんが気付いたこと以外**で、あなたが音楽を聴いて気付いたことを２つ書きなさい。（　ア　）と（　イ　）には、下の選択肢からそれぞれ１つずつ選びなさい。ただし、（　ア　）と（　イ　）には異なる語を選択肢から選んで書くこと。(1 (2

音楽が２回流れます。音楽を聴きながら解答しても構いません。

【選択肢】
音色　　リズム　　速度　　強弱　　構成

【（　ア　）について気付いたこと】

【（　イ　）について気付いたこと】

正答例
［音色：トランペットなどの金管楽器でファンファーレのような音が演奏されている／リズム：打楽器は八分音符を繰り返しているが、管楽器には付点のリズムが使われている／速度：この部分を通してほとんど変化しない／強弱：曲が進むにつれてだんだん強くなっている／構成：曲が進むにつれて旋律を演奏する楽器が次々と変化している］（以上から１つについて記述）

【通過率　80.5％、74.5％】

別紙３（問題例）

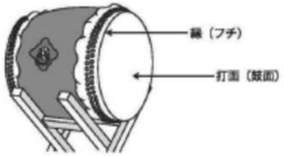
音楽　第２学年及び第３学年　創作
思いや意図をもち、課題や条件に沿って音楽をつくる問題例①②

5　太鼓で演奏するリズムの創作に関する授業の様子を聞いて、あとの(1)、(2)の問題に答えなさい。

最初に授業の様子が流れます。

【授業の様子】

先　　生　：　はじめに、太鼓を打ってみます。まず、太鼓の打面（鼓面（こめん））を打つ音です。（音が１回流れます。）
次に、太鼓の縁（フチ）を打つ音です。（音が１回流れます。）
２種類の音の違いを感じ取れましたか。

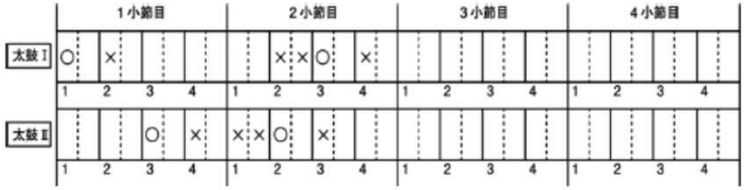


それでは、先生がこの２種類の音を使ってつくった音楽を演奏してみます。
みなさんは【先生がつくった音楽】の楽譜を見ながら、演奏をよく聴いてください。
楽譜の「〇」は太鼓の打面（鼓面）を打つ音を、楽譜の「×」は太鼓の縁（フチ）を打つ音を表します。
（音楽が１回流れます。）

(2)　正さんは「２つの太鼓が会話をし、その会話がだんだんと盛り上がっていくような４小節の音楽をつくりたい」と考えました。

【正さんがつくった音楽】の２小節目までが１回流れます。

【正さんがつくった音楽】（２小節目まで）



正さんは、１、２小節目を次のように工夫してつくりました。

【音楽で表すための工夫】
２つの太鼓があいさつを交わした後、会話を始める様子を、同じ音、同じリズムを交互に繰り返すことで表現しました。また、リズムを繰り返すタイミングを、１小節目と２小節目とで変化させてみました。

　あなたが正さんだとしたら、２つの太鼓の会話がだんだんと盛り上がっていく様子を表すために３、４小節目の【音楽で表すための工夫】をどのように考えますか。太鼓Ⅰと太鼓Ⅱの**音やリズムの重ね方に触れながら**、具体的に書きなさい。
　また、その【音楽で表すための工夫】を生かした音楽をつくり、**楽譜の３、４小節目の太鼓Ⅰと太鼓Ⅱの両方に**「○」、「×」を書き入れなさい。
（11（12

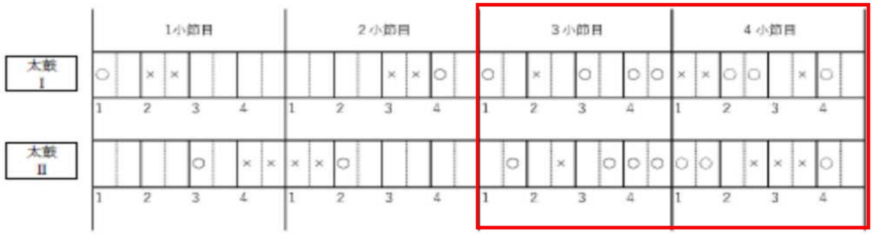
①
音楽科　第２学年及び第３学年「Ａ表現」
(3)創作　ア　創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫することについて問う問題
○２つの太鼓の音やリズムの重ね方に触れながら「音楽で表すための工夫」について言葉で表す問題を出題
このような問題により、リズム創作の活動を通した「思考力、判断力、表現力等」の育成の状況について測る。

正答例
　２つの太鼓がリズムを繰り返す間隔を狭くするとともに、×よりも○を多く用いたりズムによって会話が盛り上がる様子を表す。

【通過率　42.0％】

②
音楽科　第２学年及び第３学年「Ａ表現」
(3)創作　ウ　創意工夫をいかした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることについて問う問題
○創意工夫を生かし、課題や条件に沿って音楽をつくる問題を出題
このような問題により、リズム創作の活動を通した「技能」の習得の状況について測る。

正答例



【通過率　36.3％】

別紙４（問題例）

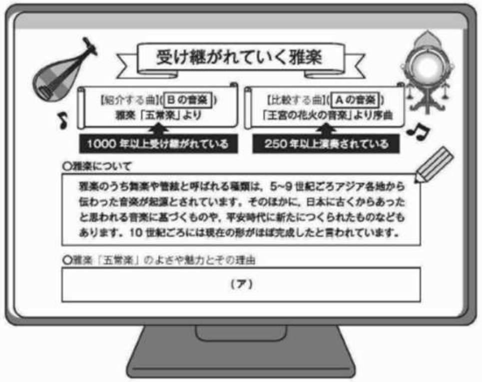
音楽　第２学年及び第３学年　鑑賞
音楽の特徴に着目し、理由を明らかにしながらよさや魅力について言語で表現する問題例

音楽科　第２学年及び第３学年「Ｂ鑑賞」
(1)鑑賞 ア(ｳ) 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことについて問う問題
〇雅楽「五常楽」の一部を聴き、曲の特徴を音色、旋律、音の重なり方、終わり方のうち、いずれか２つの視点から考え、それを理由によさや美しさを言葉で説明する問題を出題
このような問題により、我が国や郷土の伝統的な音楽の鑑賞の活動を通した「思考力、判断力、表現力等」の育成の状況について測る。

3　これから流れるＡの音楽とＢの音楽について、あとの(1)から(5)の問題に答えなさい。その際、これから流れる授業の様子も参考にしなさい。

(4)　愛さんと勇さんは、雅楽についてさらに学習を深め、学んだことや感じたことを多くの人に伝えたいと考えました。そこで、まとめたことをホームページに掲載して、広く紹介することにしました。

【作成中のホームページ】



もしあなたが愛さんや勇さんだったら、このホームページをどのように完成させますか。ホームページの（ ア ）に載せる内容を次の【条件】に従って書きなさい。(8

【条件】
・あなたが感じたＢの音楽の**よさや魅力**と**その理由**を書くこと。
・理由は、Ｂの音楽の特徴について、**「音色」、「旋律」、「音の重なり方」、「終わり方」のうち、２つ以上の言葉を用いて**書くこと。

Ｂの音楽が１回流れます。音楽を聴きながら解答しても構いません。

正答例
Ｂの音楽は、[各楽器の個性が生かされた音色によって／音と音が滑らかにつながっている旋律によって／楽器が１つ１つ順番に出てくる音の重なり方によって／終わり方については、全ての楽器が一斉に終わるのではなく、各楽器のタイミングで終わっていて（以上から２つ以上について記述）］緩やかな時間の流れの中で響きが刻々と変化していくところが魅力である。

【通過率　43.4％】

令和５年度 中学校学習指導要領実施状況調査の結果について（美術）

１．平成29年学習指導要領の主な改訂のポイント

〇生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を重視
〇「Ａ表現」、「Ｂ鑑賞」及び〔共通事項〕の指導内容の明確化
・主体的で創造的な学習を目指し、造形的な視点をもって、表現において豊かに発想や構想をすることや鑑賞において見方や感じ方を深めることを重視
・表現と鑑賞の相互の関連を図った指導の充実

２．学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

〇造形的な特徴を捉え、形や色彩の効果を考えて発想や構想をすることについては、相当数の生徒ができている。
〇生活や社会の美術の働きについて考えるなどして見方や感じ方を深めることは、相当数の生徒ができている。
〇作者の表現の意図と創造的な工夫などを分析的・総合的に捉えたり、美術文化について考えたりするなどして見方や感じ方を深めることは、一部課題があると考えられる。
〇造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解することについては、課題があると考えられる。

３．２の成果と課題を踏まえた改善の方向性

〇指導上の改善点
・〔共通事項〕の視点で指導を見直し、特に造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることについて実感を伴いながら理解できるようにする。
・意図に応じて創造的に工夫し表せるよう、多様な表現方法を学習する機会を効果的に取り入れるなどの指導の改善を図る。
・発想や構想を豊かなものにするため、主題を生み出し表現の構想を練ることや、見方や感じ方を深めるため、作者の心情や意図と表現の工夫などについて分析的・総合的に考えることができるよう指導の改善を図る。
・表現及び鑑賞の活動を通して、生徒が自分との関わりの中で、美術や美術文化を豊かに捉えることができるよう指導の一層の充実を図る。

４．調査問題例（ペーパーテスト・実技 中学校/美術）

感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の問題例
（別紙１参照）

〇文房具の形の特徴を生かして発想や構想をし、新たな乗り物を考える表現の問題を出題 **【通過率 85.6%】**
〇明るく楽しい感じになるよう、色の組合せを工夫して発想や構想をする表現の問題を出題 **【通過率 82.2%】**

美術の働きについての見方や感じ方の問題例
（別紙２参照）

〇ピクトグラムの役割に関する鑑賞の問題を出題 **【通過率 83.0%】**
〇器の用途と材料との関係に関する鑑賞の問題を出題
【通過率 ①84.3%、②81.1%、③92.7%、④91.7%】

作者の表現の意図と創造的な工夫についての見方や感じ方の問題例
（別紙３参照）

〇表現の意図に関する鑑賞の問題を出題 **【通過率 34.6%（作品４）】**
〇画面の構成の工夫に関する鑑賞の問題を出題 **【通過率 48.8%（作品４）】**
〇表し方の工夫に関する鑑賞の問題を出題 **【通過率 32.3%（作品３）】**

造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることについての理解に関する問題例
（別紙１、４、５参照）

〇楽しく動いている様子が分かるように、全体のイメージを捉えながら、動きを考えて、発想や構想をする表現の問題を出題 **【通過率 43.6%】**
〇４つのアイコン全体の統一感を考えて、発想や構想をする表現の問題を出題 **【通過率 47.8%】**
〇「しなやかな動き」というテーマを基に、全体のイメージを捉えながら立体作品に表す表現の問題を出題 **【通過率 32.5%】**

別紙１（問題例）

感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想の問題例

美術　第２学年及び第３学年　造形的な特徴を基に、色の組合せや形を工夫して発想や構想をすることについて問う問題

〇文房具の形の特徴を生かして発想や構想をし、新たな乗り物を考える表現の問題
〇明るく楽しい感じになるよう、色の組合せを工夫して発想や構想をする表現の問題
〇楽しく動いている様子が分かるように、全体のイメージを捉えながら、動きを考えて、発想や構想をする表現の問題
これらの問題から、「知識及び技能（知識）」及び「思考力、判断力、表現力等（発想や構想に関する資質・能力）」の育成されている状況について調査した。

1　太郎さんたちは美術の授業で、ものの形の特徴を生かして新たに考えた乗り物を描くことにしました。太郎さんと花子さんの会話を読んで、問題に答えなさい。

太郎：私は、池にいるカメをもとにして＜作品１＞を描いてみたけど、何か物足りない感じがしたので、次に＜作品２＞を描いてみたよ。

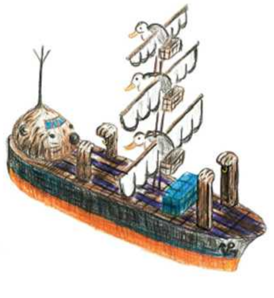
＜作品１＞

＜作品２＞

花子：そうだね、＜作品１＞はカメにタイヤを付けただけで、あまりカメの形の特徴が乗り物の形に生かされていないよね。
それに対して、＜作品２＞は、甲羅の部分を窓にしたり、目をライトにしたりするなどの工夫があるよね。
ただ、もっと動物の形の特徴をもとに表現できないかな。

花子さんは、太郎さんが描いた乗り物を参考に、今度はラッコとカモメの２種類の動物を組み合わせて、工夫して＜作品３＞を描きました。

【花子さんが工夫した点】
○　ラッコが浮いている様子から貨物船をイメージし、ラッコやカモメの形の特徴を生かして船の帆やクレーンなどを表現したこと
○　色の組み合わせを工夫してどっしりとした感じを表現したこと


＜作品３＞

太郎：とてもよく描けているね。ただ、乗り物だから動きが表せるともっといいよね。今度は動きについても考えてみようよ。

太郎さんは、今度は動きについても考えて、イルカの形の特徴をもとに工夫して＜作品４＞を描きました。

【太郎さんが工夫した点】
○　胴体やひれの形を工夫して、飛び跳ねるような動きを表現したこと

＜作品４＞

（問題）
太郎さんや花子さんの会話や絵を参考に、次の＜条件＞の①から③を踏まえ、「文房具」をもとに、新たにあなたが考えた乗り物を【解答欄】に描きなさい。なお、絵は配付された色鉛筆で着色すること。
また、花子さんや太郎さんの工夫した点にならって、あなたが＜条件＞の①から③について工夫したことを【記入欄】に具体的に説明しなさい。

＜条件＞
①「文房具の形の特徴」を乗り物の形に生かすこと
②「明るく楽しい感じ」となるように色の組み合わせを工夫すること
③「楽しく動いている」様子が分かるように形を工夫すること

条件①【通過率　85.6％】
条件②【通過率　82.2％】

条件③【通過率　43.6％】

条件①②正答例
「文房具の形の特徴」を乗り物の形に生かし、色の組合せの工夫（暖色や鮮やかな色、淡い色調などの組み合せ）によって、「明るく楽しい感じ」となるように発想や構想をしていることが絵から分かる。

条件③正答例
「楽しく動いている」様子が分かるように、形を曲げたり、はねるような形にするなど、動きだけでなく楽しく動いているように形を工夫して発想や構想をしていることが絵から分かる。

別紙２（問題例）

美術の働きについての見方や感じ方の問題例

美術　第２学年及び第３学年　目的や機能を考えた表現における、生活や社会の中の働きや役割に関する見方や感じ方について問う問題
〇ピクトグラムの役割に関する鑑賞の問題
〇器の用途と材料との関係に関する鑑賞の問題
これらの問題から、「知識及び技能（知識）」及び「思考力、判断力、表現力等（鑑賞に関する資質・能力）」の育成されている状況について調査した。

次に、２人は身の回りのピクトグラムについて考えました。

花子：＜資料４＞は、歩道と自転車道を表しているピクトグラムだね。ピクトグラムは、オリンピックだけではなくて、私たちの生活や身の回りにもあるよね。

太郎：そうだね。そして、ピクトグラムには、内容をよりよく伝えるための表し方の工夫があるよね。

＜資料４＞

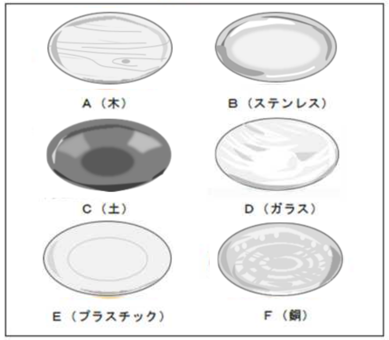
(3)　ピクトグラムが、私たちの生活や社会の中にあることで、どのような役割を果たしていると思いますか。これまでの太郎さんと花子さんの会話や資料を参考に考え、解答用紙に1つ書きなさい。(19

（3）正答例
ピクトグラムを鑑賞し、生活や社会の中での働きや役割についての記述（例：「子供や大人、様々な言語を使う人などに対して情報や注意を誤解なく伝える」など）から、ピクトグラムについて生活や社会の中の美術の働きと結びつけて考えていることが分かる。

(3)【通過率　83.0％】

4　器は私たちの生活の中で欠かせないものの１つです。太郎さんたちは、様々な材料でできている皿について調べ、＜資料１＞を作成しました。(　)内は、それぞれの皿の材料を示しています。太郎さんと花子さんの会話や資料をもとにして、次の問題に答えなさい。

＜資料１＞ ※実際の調査問題では写真を掲載しています



花子：主に主菜・副菜などを盛り付けるためのお皿は、私たちが日々よく使うものだけど、改めて調べてみると様々な材料が使われていることが分かるね。

太郎：そうだね。用途によって適した材料の皿を選ぶことができたら食事がもっと楽しいものになるかもしれないね。

(1)　太郎さん、花子さん、文子さん、次郎さんは、用途と材料との関係について考えました。次の会話を読んで、それぞれの用途に最も適していると考えられる皿を＜資料１＞のＡからＦの中から１つ選び、記号で答えなさい。(20 (21 (22 (23

太郎：私は、（　①　）の皿から涼しげな印象を感じたよ。冷たい料理などに使うとよいのではないかな。　D

花子：私は、（　②　）の皿から重厚感とともに、均一でない微妙な形の変化の美しさを感じたよ。だから、創作的な料理に使うとよいと思うな。　C

文子：私は、（　③　）の皿から手軽さや扱いやすさを感じたよ。それで、小さな子供たちに出す料理に使うとよいのではないかと思ったんだ。　E

次郎：私は、（　④　）の皿から自然の雰囲気を感じたんだ。だから、ピクニックなどのときの料理に使うとよいと思うな。　A

①【通過率　84.3％】
②【通過率　81.1％】
③【通過率　92.7％】
④【通過率　91.7％】

別紙３（問題例）

作者の表現の意図と創造的な工夫についての見方や感じ方の問題例

美術　第２学年及び第３学年　作者の表現の意図と創造的な工夫などに関する見方や感じ方について問う問題
〇表現の意図に関する鑑賞の問題　　〇画面の構成の工夫に関する鑑賞の問題　　〇表し方の工夫に関する鑑賞の問題
これらの問題から、「知識及び技能（知識）」及び「思考力、判断力、表現力等（鑑賞に関する資質・能力）」の育成されている状況について調査した。

2　太郎さんたちは美術の授業で、美術作品の鑑賞をしました。次の太郎さんと花子さんの会話や作品をもとにして、次の問題に答えなさい。（この問題の作品は、配付している「資料」に大きな図版で掲載しています。）

最初に太郎さんと花子さんは、次の２つの作品を鑑賞しました。

＜作品１＞	＜作品２＞
モネ「アルジャントゥイユの鉄道」	ルノワール「アルジャントゥイユの鉄道」

花子：この＜作品１＞と＜作品２＞は、同じ場所を異なる作者が描いたものなんだって。同じ場所を描いていても、作者の描きたいことや表し方などによって作品の雰囲気がずいぶん変わるね。

太郎：＜作品２＞は、川面は粗いタッチで塗られていて、単に見たとおりに描くのではなく、川を吹き抜ける風を表したかったのではないかな。

花子：＜作品１＞は、＜作品２＞と比べると、鉄橋や船、橋のふもとの２人の人物などが丁寧に描かれていて、作者の見た風景のよさや、その場の明るい雰囲気を表しているように感じたよ。そう感じた根拠も含めてこの２つの作品についてまとめてみようよ。

(1)正答例
「表現の意図」について、例えば<作品４ >の作品では、画面手前の水面の様子や雰囲気などに関しての記述から読み取れていることが分かる。

太郎さんと花子さんは＜作品１＞と＜作品２＞を比較したことについて＜表１＞にまとめました。

		＜作品１＞	＜作品２＞
作者が表したかったこと		作者の見た風景のよさや、その場の明るい雰囲気を表したかったと思った。	川を吹き抜ける風を表したかったと思った。
根拠	画面の構成	広い範囲が描かれ、橋や川全体が入るような画面の構成になっているから。	橋や川をクローズアップした画面の構成になっているから。
	表し方	橋や川など見えているものが忠実に描かれているから。	川の様子などが粗いタッチで塗られているから。

＜表１＞

次の＜作品３＞と＜作品４＞も同じ場所を異なる作者が描いたものです。これまでの太郎さんと花子さんの会話を参考にして、２つの作品を比較し、次の問題に答えなさい。

＜作品３＞	＜作品４＞
ルノワール「ラ・グルヌイエール」	モネ「ラ・グルヌイエール」

※実際の調査問題では作品画像を掲載しています

⑴　上の＜表１＞にならって、あなたが考えた**作者が表したかったこと**を解答用紙に書きなさい。（5（6

作品4【通過率　34.6%】

⑵　前の問題⑴で答えた**根拠**として、最も当てはまるものを、＜表１＞にならって、下の**＜A　画面の構成＞**と**＜B　表し方の工夫＞**からそれぞれ１つずつ選び、記号で答えなさい。（7（8（9（10

作品4【通過率　48.8%】　ウ

＜A　画面の構成＞

ア　下から見上げたように感じられる画面の構成になっているから
イ　遠くの部分を強調した画面の構成になっているから
ウ　手前に広がりが感じられるような画面の構成になっているから
エ　空の部分を大きく取り入れた画面の構成になっているから
オ　中央の部分を強調した画面の構成になっているから

＜B　表し方の工夫＞

カ　水面のゆらぎや反射が色の明るさを変えながら描かれているから
キ　原色に近い明るい色彩を使い、力強い線で描かれているから
ク　同じ色みで統一感がでるように描かれているから
ケ　筆の勢いを生かして、動きがでるように描かれているから
コ　人々の様子をより具体的に捉えて描かれているから

作品3【通過率　32.3%】　コ

⑶　**＜作品３＞**と**＜作品４＞**の２つの作品に共通すると思われることを、下の**＜C　共通すると思われる点＞**から１つ選び記号で答えなさい。（11

＜C　共通すると思われる点＞

a　全体的に暗いイメージで描かれている
b　光や様々な影を意識して描かれている
c　対岸の木々に着目して描かれている
d　手前にある船に着目して描かれている

美Ｂ－６

造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることについての理解に関する問題例

美術　第２学年及び第３学年　伝達のデザインとしてアイコンの全体の統一感を考えて、発想や構想をすることについて問う問題
○４つのアイコン全体の統一感を考えて、発想や構想をする表現の問題を　出題
この問題からは、「知識及び技能（知識）」及び「思考力、判断力、表現力等（発想や構想に関する資質・能力）」の育成されている状況について調査した。

2　物事を簡単な絵柄で記号化して表現するものを「アイコン」といいます。身近なところではコンピュータの画面などに使われています。

太郎さんたちは美術の授業で、ホームページに使うアイコンのデザインを考えることになりました。次の太郎さんと花子さんの会話を読んで、問題に答えなさい。

コンピュータに使われているアイコン

太郎さんと花子さんは、＜デザイン①＞と＜デザイン②＞の２つを比較してそれぞれのアイコンについて話し合いました。

＜デザイン①＞　＜スケッチ＞　＜デザイン②＞

太郎：＜デザイン①＞と＜デザイン②＞は、それぞれ鉄道会社のホームページで使うアイコンの案だね。同じ電車のスケッチから考えていても、デザインにずいぶん違いがあるね。

花子：本当ね。＜デザイン①＞は＜デザイン②＞と比べると詳しく描かれているけど、アイコンとしては＜デザイン②＞の方が、電車の形を単純化することで分かりやすくなっているね。

次に太郎さんと花子さんは、＜デザイン③＞と＜デザイン④＞のアイコンを比較しました。

＜デザイン③＞　＜デザイン④＞

太郎：＜デザイン③＞と＜デザイン④＞のアイコンを比べると、＜デザイン④＞は、大きさや線の太さ、角の丸め方などに共通性があって、統一感があるね。

＜それぞれのアイコンについて＞

花子：それぞれのアイコンが内容に応じて工夫されていて、見る人に誤解なく伝わるよね。これまでに話し合ったことをもとに、学校のホームページで使うアイコンを考えてみようよ。

太郎さんと花子さんは、これまで話し合ったことをもとに、下のようにアイコンを描くときに必要な＜条件＞をまとめ、自分たちの学校のホームページで使うアイコンを考えることにしました。

＜条件＞
① 伝えたい内容が見る人に誤解なく伝わるようにすること
② 内容を分かりやすく伝えるために形を単純化すること
③ ４つのアイコンの統一感がでるようにすること

次に、アイコンで伝えたい内容について下の＜表１＞にまとめ、その後に＜図１＞のように「Ａ　本校について」のアイコンを考えるためのスケッチを描きました。

アイコン	伝えたい内容
Ａ　本校について	学校全体の説明
Ｂ　学習について	各教科の説明
Ｃ　学校行事について	運動会や文化祭などの学校行事の説明
Ｄ　部活動について	運動部や文化部などの部活動の説明

＜表１＞　学校のホームページのアイコンで伝えたい内容

＜図１＞　「Ａ　本校について」のアイコンを考えるためのスケッチ

（問題）
これまでの太郎さんと花子さんの会話を参考に、＜条件＞の①から③を全て取り入れて、学校のホームページに使う＜表１＞の４つのアイコンを【解答欄】に描きなさい。なお、「Ａ　本校について」のアイコンは＜図１＞のスケッチをもとに考えなさい。
また、＜条件＞の①から③について工夫したことを【記入欄】に具体的に説明しなさい。（1（2（3

条件③正答例
描かれた学校のホームページに使う4つのアイコンに大きさや線の太さ、角の丸め方などに共通性があり、全体の統一感を考えて発想や構想をしていることが絵から分かる。

統一感【通過率　47.8％】

別紙5（問題例）

造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることについての理解に関する問題例

美術　第２学年及び第３学年　「しなやかな動き」からイメージし、それが分かるように形を考えて、紙の性質と加工方法を創造的に工夫して表す技能について問う問題
○「しなやかな動き」というテーマを基に、全体のイメージを捉えながら立体作品に表す表現の問題を出題
この問題からは、「知識及び技能」の育成されている状況について調査した。

1　太郎さんと花子さんは、紙を使って表した＜作品Ａ＞について次のように話し合いました。次の太郎さんと花子さんの会話や作品をもとにして、立体作品をつくりなさい。

＜作品Ａ＞
※正面が分かるように矢印と、組、出席番号を台紙に記入している

太郎：＜作品Ａ＞は、動きのイメージを表現しているんだ。

花子：この作品は、紙を材料に、いくつかの方法を組み合わせてつくられているね。私もこの作品を見て、様々な形の紙が重なり合いながら、違う方向に向かって伸びていく様子から、「からみ合う動き」を感じたよ。

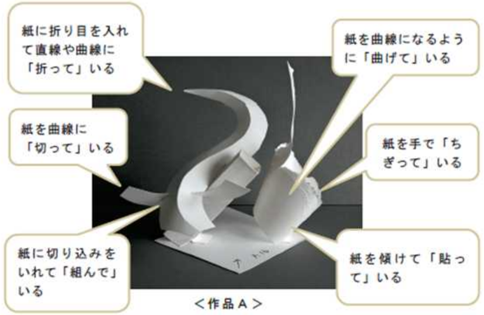
太郎：このように動きを表すことができるって面白いよね。紙を材料にして、作品をつくるときに活用できる紙の加工方法ってどのようなものがあるのかな。考えてみようよ。

太郎さんたちは、活用できる紙の加工方法について調べて次の＜表１＞にまとめました。

㋐ 切る	㋑ 折る	㋒ 曲げる
㋓ 貼る	㋔ 組む	㋕ ちぎる
㋖ 穴をあける	㋗ 編む	㋘ 結ぶ

＜表１＞ 太郎さんたちが調べた活用できる紙の加工方法

花子：＜作品Ａ＞は、＜表１＞の中で、「㋐切る」、「㋑折る」、「㋒曲げる」、「㋓貼る」、「㋔組む」、「㋕ちぎる」といった方法を組み合わせてつくられているね。



＜作品Ａ＞

太郎さんと花子さんは、＜作品Ａ＞について、次のようにまとめました。

- 「からみ合う動き」を、<u>紙のもつ性質や形を考え</u>ながら表している
- 「からみ合う動き」という<u>イメージをよりよく表せるよう</u>に「切る」、「折る」、「曲げる」、「貼る」、「組む」、「ちぎる」といった<u>方法を組み合わせて</u>表している
- 作者の表したいイメージや<u>工夫が見る人にも伝わってくる</u>

⑴　太郎さんと花子さんの会話や作品についてまとめたことを参考に、次の＜条件＞の①から③を踏まえて、配付された材料を使い<u>「しなやかな動き」</u>というテーマにもとづいてイメージした立体作品をつくりなさい。（1（2

条件①【通過率　32.5％】

＜条件＞
① <u>「しなやかな動き」をイメージ</u>して、立体作品をつくること。
② 「しなやかな動き」が分かるように形を考えて、<u>材料である紙の性質と加工方法を生かしてつくること</u>。
③ 下の表にある「制作のための紙の加工方法」のＡ群の㋐～㋓と、Ｂ群の㋔～㋙の中から、<u>それぞれ２つ以上の方法を選び、組み合わせて</u>つくること。また、活用した方法は別紙の制作カードに記入すること。

	制作のための紙の加工方法					
Ａ群	㋐切る	㋑折る	㋒曲げる	㋓貼る		
Ｂ群	㋔組む	㋕ちぎる	㋖穴をあける	㋗編む	㋘結ぶ	㋙その他

条件①　正答例
配付された材料や用具を使い制作した立体作品から「しなやかな動き」のイメージを表すことができていることが分かる。

別紙の「制作カード」に、あなたが考えた「しなやかな動き」のイメージや、制作にあたって工夫した点を<u>具体的に説明しなさい</u>。

作品は台紙に貼り、<u>正面が分かるように矢印と、組、出席番号を台紙に記入しなさい</u>。